

女性の健康について

厚生労働省では、毎年3月1日から8日までを女性の健康週間と定めています。町では、女性特有の病気である子宮頸がん、骨粗しょう症、乳がんの検診を行っています。乳がんの検診を担当していますが、婦人科検診を担当している保健師として、特にお伝えしたいことを紹介します。

早期発見のために検診を

1つ目に、子宮頸がん検診についてです。若い方は、検診自体をためらうこともあります。集団検診以外にも、施設検診があり、土曜日に、会津若松市の婦人科で受診することも可能です。ご家族が「一緒に受けよう」と誘っていたと心強いと思います。

また、「何歳まで子宮頸がん検診を受診すればいいですか」と聞かれることが多いですが、70代以上で発症する方もいらっしゃいます。検診を受けなかったことで、

がんの発見が遅れたというケースもありますので、ぜひ、検診を受けていただきたいと思います。

2つ目に、乳がん検診についてです。集団検診は、自覚症状がない方を対象にしていますが、その理由の一つとして、撮影範囲の死角や限界があります。もし自覚症状のある部分が、機械に挟めない部分だった場合、検診では撮影されないために「異常なし」となり、受診した方が病院へ行かなくなってしまう場合もあります。

3つ目に、骨粗しょう症検診についてです。発症につながることで、若い時のやせ（低体重）が関係していると言われていました。過度なダイエットにより、食事を抜いたり、必要な栄養素を摂らなかつたりすると、将来に悪影響をおよぼすことがあります。

女性のライフステージごとに起こりやすい病気やトラブルを理解し、自分自身の健康を守っていきましょう。

初期症状について

◆子宮頸がん

初期はほとんど症状がなく、進行が進むと、月経以外の出血（不正出血）、下腹部の痛みなどが現れてきます。

◆乳がん

乳房のしこり、乳房のエクボなど皮膚の変化、乳房周辺のリンパ節の腫れが代表的な症状です。自己触診や観察でも変化に気づくことができます。

※上記のような自覚症状がある場合は、すぐに病院へ受診しましょう。

【問合せ】

健康福祉課 健康増進係
電話 0241-62-6180



保健師
小寺 理奈

ライフステージごとの
病気やトラブル

低体重

望まない
妊娠

月経異常

子宮がん

産後うつ

乳がん

生活習慣病

更年期
障害

骨粗しょう症

認知症



小児期



女性ホルモンの
分泌が増える

思春期



女性ホルモンの
分泌が安定する

性成熟期



女性ホルモンの分泌
が急激に低下する

更年期



老年期